令和４年度指定管理鳥獣捕獲等事業（ニホンジカ・県南部区域）

の捕獲と生息状況調査結果

１　捕獲の実施結果

１－１　令和４年度事業における捕獲結果

- 目標捕獲数 45 頭に対して 44 頭が捕獲された。
- 月ごとでは 12 月にかけて CPUE は増加し他一方、幼獣割合は減少し、12 月では全頭成獣と判断された。成獣メス割合は 12 月にかけて増加し、12 月には８割となった。

表１－１　令和４年度の月ごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
わな日				1,563	2,426	817	4,806
捕獲数				4	25	15	44
成獣メス割合（%）				50.0	52.0	80.0	61.4
幼獣割合（%）				25.0	12.0	0.0	9.1
CPUE				2.56	10.31	18.36	9.16

表１－２　令和４年度の市町ごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

	君津市
わな数	173
わな日	4,806
空はじき	27.0
空はじき率	5.6
捕獲数	44
成獣メス割合（%）	61.4
幼獣割合（%）	9.1
CPUE	9.2

※空はじき率＝空はじき数/わな日×1000

１－２　平成 27～令和４年度事業における捕獲結果

- 全域では、令和４年度は令和３年度と比較して CPUE は減少した。
- 令和３年度と比較して成獣メス割合は大幅に増加し、幼獣割合は減少した。

表１－３　令和３-令和４年度の捕獲数の内訳

		R3	R4
成獣	メス	29 (58.0)	27 (61.4)
	オス	14 (28.0)	13 (29.5)
幼獣	メス	4 (8.0)	2 (4.5)
	オス	3 (6.0)	2 (4.5)
合計		50	44

※後足長が 30cm 以上の個体を成獣とした

※括弧内は各年度の全捕獲数に占める割合

表１－４　平成２７～令和４年度のわな捕獲の作業及び捕獲状況

	R3	R4
わな数	40	173
わな日	2,250	4,806
空はじき	40	27
空はじき率	17.78	5.62
目標捕獲数	50	45
捕獲数	50	44
成獣メス割合（%）	58.0	61.4
幼獣割合（%）	14.0	9.1
CPUE	22.22	9.16

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出した

※CPUE は（捕獲数/わな日）×1000、空はじき率は（空はじき/わな日）×1000

２　生息状況調査の結果

２－１　令和４年度調査結果

＜糞塊密度調査の結果＞

糞塊調査結果を**図２－１**に示したルート別の糞塊数の詳細な結果については、別添の**表１**に示した。

- すべての糞塊ルートで、糞塊が確認された。
- 実施区域の東部の糞塊ルート KD3 がその他と比較して比較的糞塊密度が高かった。

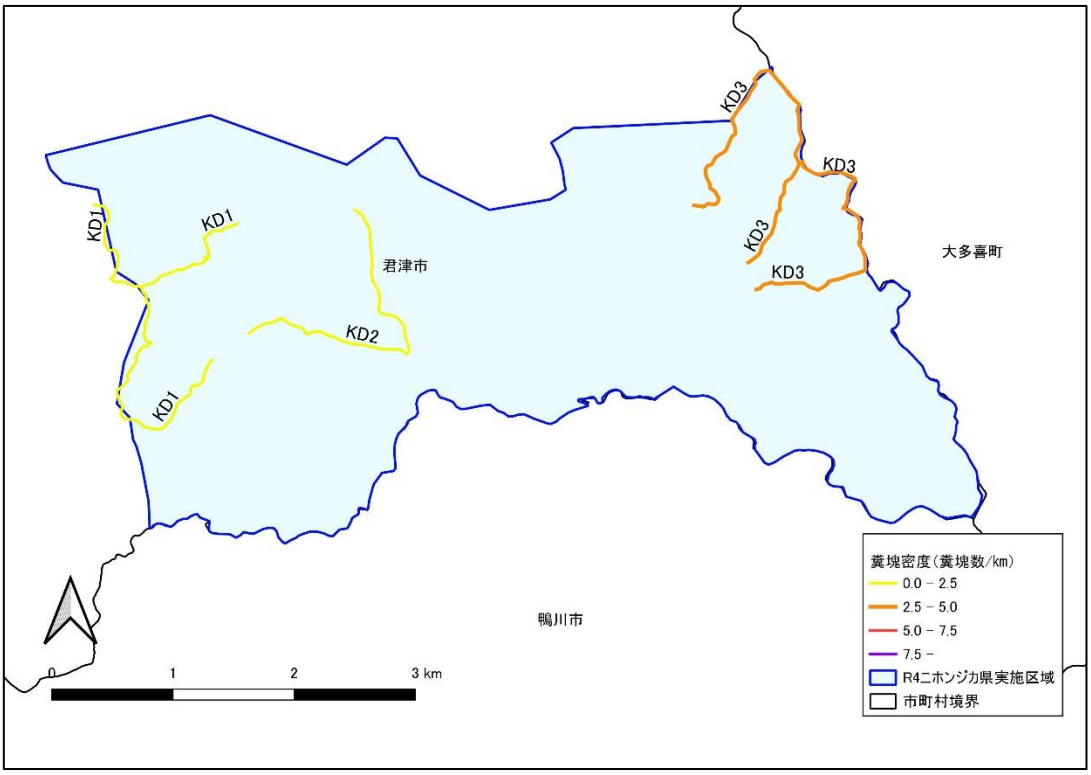

図２－１　令和４年 12 月の二ホンジカの糞塊密度

＜自動撮影カメラ調査の結果＞

カメラ調査期間におけるシカの撮影枚数をカメラの稼働日数で除した数値を**図２－２**に、シカ成獣メスの全期間撮影頻度を**図２－３**に示した。

- ユニット T1 の K-3、次いでユニット T2 の K-2 で撮影頻度が高くなった。
- 成獣メスの撮影頻度も同様の結果となり、全てのカメラで成獣メスが確認された。

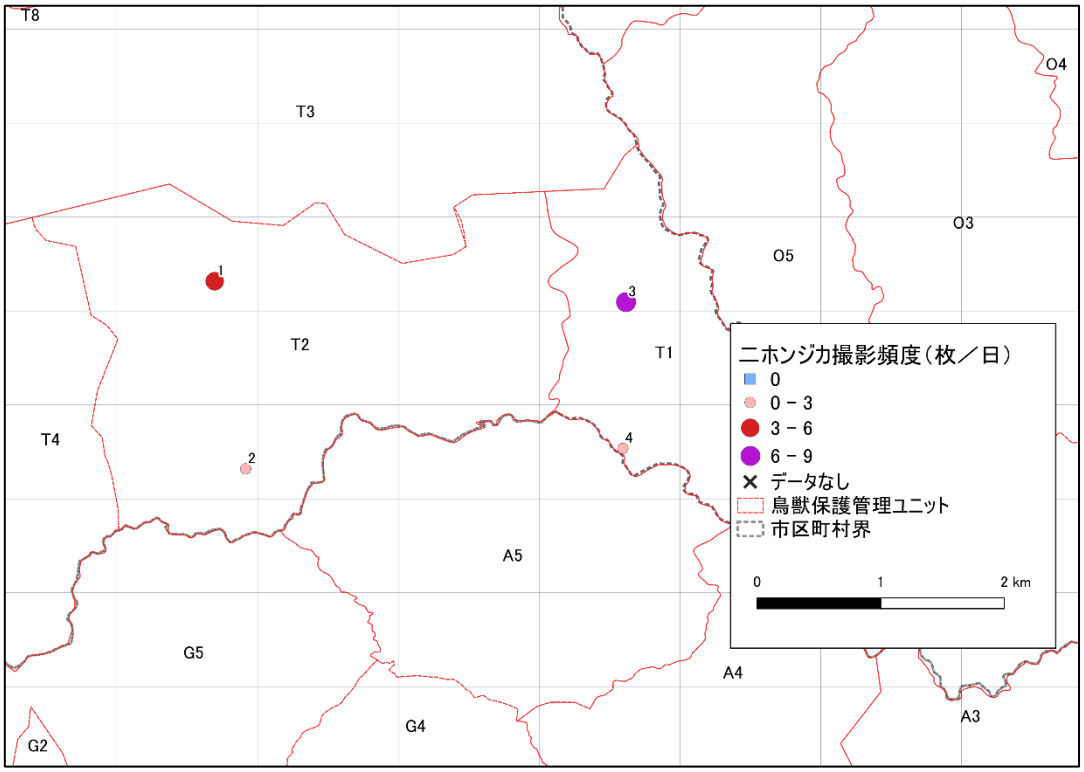

図２－２　シカの全期間（令和４年８～１２月）撮影頻度
（カメラ調査地点は番号のみ表示（例：K-01 → 1））

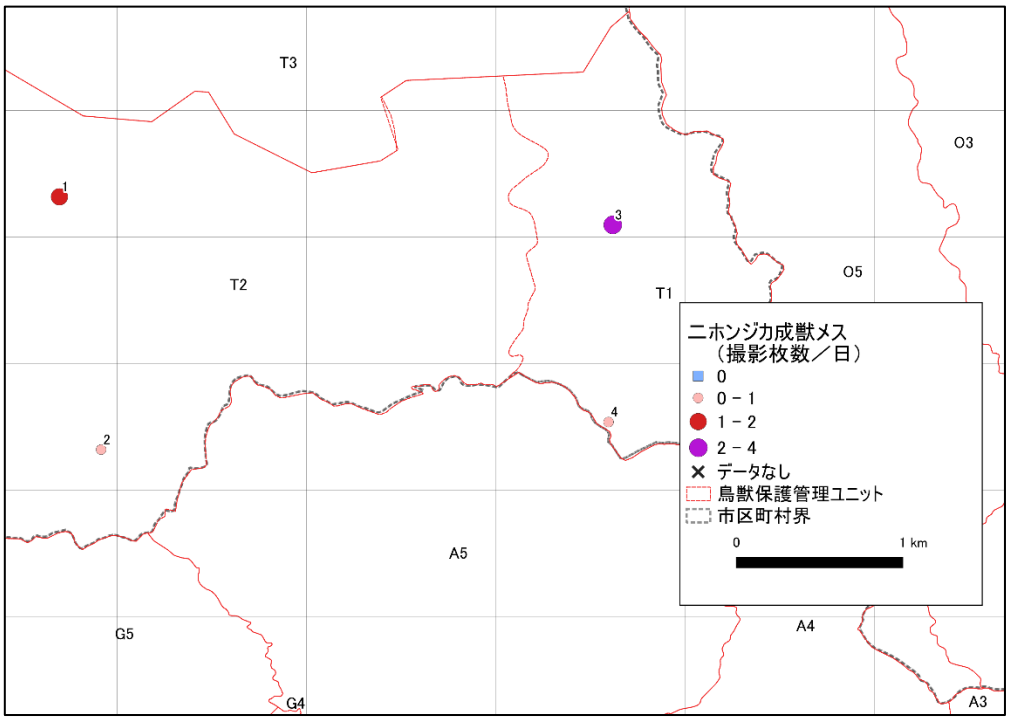

図２－３　シカ成獣メスの全期間（令和４年８～１２月）撮影頻度
（カメラ調査地点の番号のみ表示（例：K-01 → 1））

＜糞塊密度と撮影頻度の比較＞

図２－７には、糞塊調査の結果とカメラ調査の結果を重ね合わせた図を示した。なお、糞塊ルートは「KD●」、カメラ調査地点は「K-●」とそれぞれ表記す。

- カメラの 12 月のシカ撮影頻度と照らし合わせても、痕跡密度が高い地域では、概ねカメラの撮影頻度も高い傾向になった。

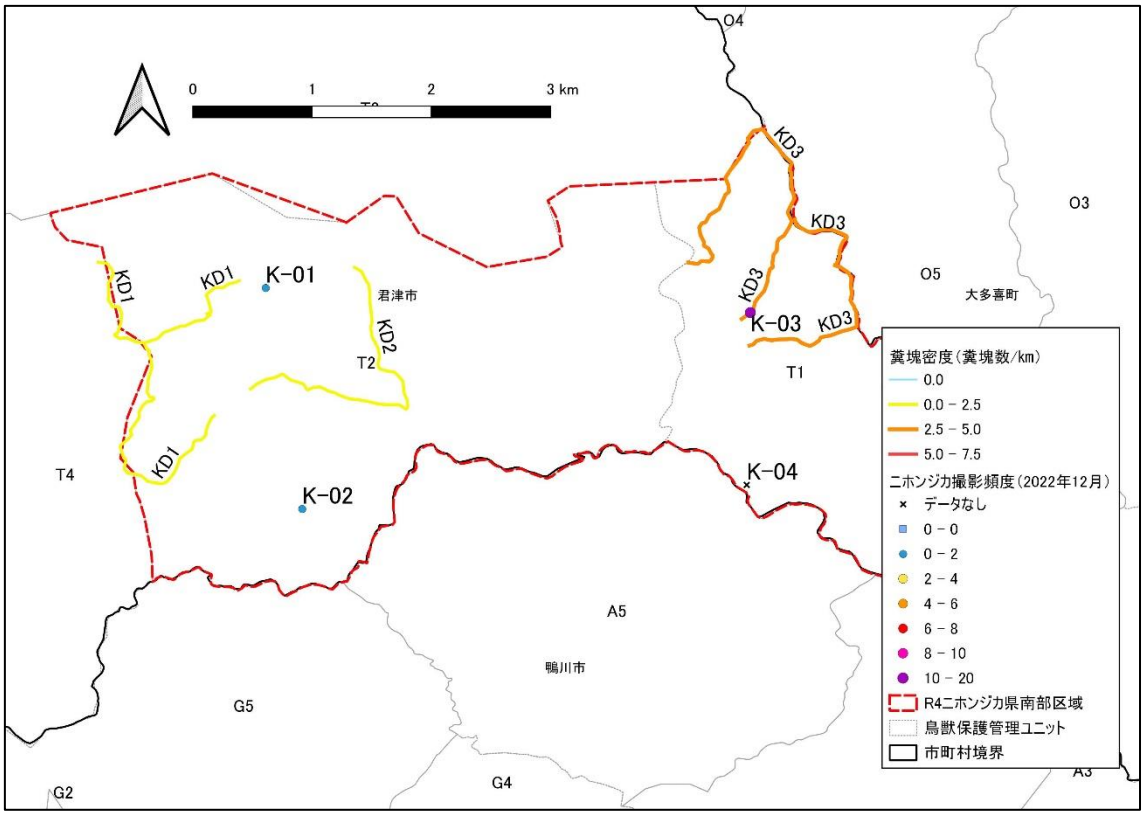

図２－７　令和４年 12 月のシカの糞塊密度及び撮影頻度

２－２　経年変化

＜糞塊密度の経年変化＞

- 平成 30 年度から令和４年度にかけて調査を実施した糞塊ルートにおいて、昨年度から全てのルートで糞塊密度が減少した。
- 平成 30 年度の糞塊密度と比較しても、全てのルートにおいて糞塊密度は減少傾向となった。

表２－１　平成 30 年度～令和４年度までの糞塊密度の比較

糞塊ルート名	H30 糞塊密度 (塊/km)	H31 糞塊密度 (塊/km)	R2 糞塊密度 (塊/km)	R3 糞塊密度 (塊/km)	R4 糞塊密度 (塊/km)
KD1	3.02	-	-	3.21	2.15
KD2	14.62	-	-	1.98	1.57
KD3	7.27	5.82	-	2.65	2.61

※糞塊数及び糞塊密度には、10 粒以上の新鮮度「新」及び「中」の糞塊のみを用いた。
※「－」は調査を実施していない。H31~R2 は台風等の影響で調査実施不可。

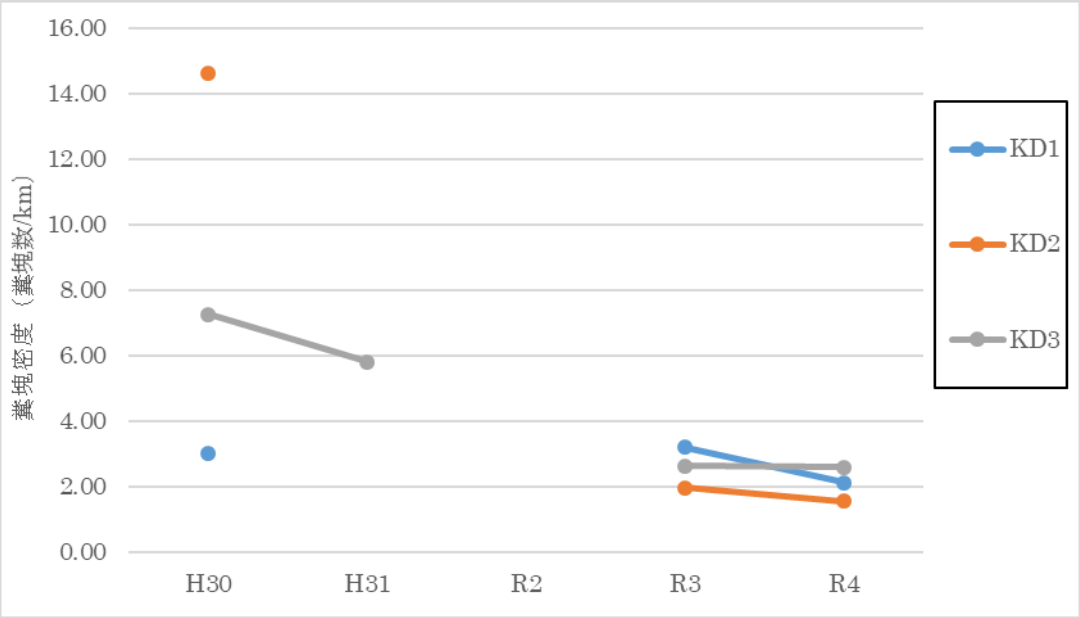

図２－８　平成 30 年度～令和４年度までの糞塊密度の推移

県南部区域

資料２　別添

令和４年度生息状況調査結果　詳細データ

別添　表１　各糞塊ルートにおける糞塊数と糞塊密度

調査ルート	市町/大字	総距離（km）	10 粒以上			10 粒未満			糞塊合計	糞塊密度
			新	中	旧	新	中	旧		
KD1	君津市 折木沢	4.18	2	7	4	2	9	7	9	2.15
KD2	君津市 折木沢	2.55	0	4	0	0	3	8	4	1.57
KD3	君津市 黄和田畑	5.37	5	9	7	6	4	8	14	2.61

※糞塊合計は 10 粒以上、「新」及び「中」の糞塊のみ使用

別添　表２　各カメラ調査地点におけるシカ撮影頻度

地点名	市町村名	地区名	R3	R4												全期間
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
K-01	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	0.857	1.300	5.226	5.267	1.923	3.091
K-02	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	0.161	3.567	0.333	1.506
K-03	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	1.786	11.633	7.613	6.833	17.667	8.031
K-04	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	2.357	1.667	×	×	×	2.018

×：機材の不調や電池切れのためデータ無し
全期間：データ集計期間全体のシカ撮影枚数をカメラ稼働日数で除した数値（なお、「×」とされている月のシカの撮影枚数とカメラ稼働日数も含めて計算）
ー：カメラ撤去のためデータ無し。

別添　表３　各カメラ調査地点におけるシカ成獣メスの撮影頻度

地点名	市町村名	地区名	R3	R4												全期間
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
K-01	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	0.679	0.567	2.839	2.200	1.538	1.591
K-02	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	0.000	2.133	0.250	0.870
K-03	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	1.321	4.667	1.097	3.967	10.250	3.458
K-04	君津市		-	-	-	-	-	-	-	-	0.714	0.259	×	×	×	0.491

×：機材の不調や電池切れのためデータ無し
全期間：データ集計期間全体のシカ撮影枚数をカメラ稼働日数で除した数値（なお、「×」とされている月のシカの撮影枚数とカメラ稼働日数も含めて計算）
－：カメラ撤去のためデータ無し。